

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成27年12月25日

【会社名】 横浜ゴム株式会社

【英訳名】 The Yokohama Rubber Company, Limited

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長兼CEO 南 雲 忠 信

【本店の所在の場所】 東京都港区新橋 5 丁目36番11号

【電話番号】 東京(03)5400 - 4520

【事務連絡者氏名】 経理部長 宮 田 哲 史

【最寄りの連絡場所】 東京都港区新橋 5 丁目36番11号

【電話番号】 東京(03)5400 - 4520

【事務連絡者氏名】 経理部長 宮 田 哲 史

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町 2 番 1 号)
株式会社名古屋証券取引所
(愛知県名古屋市中区栄 3 丁目 8 番20号)

1【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 退職給付信託の設定

当該事象の発生年月日

平成27年12月25日（取締役会決議日）

当該事象の内容

退職給付債務の積立不足額に充当するため、当社が保有する株式の一部を抛出して、退職給付信託を設定することいたしました。

当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

本退職給付信託設定により、平成27年12月期の連結決算及び個別決算において約80億円を特別利益として計上いたします。

(2) 固定資産の減損損失及び関係会社出資金評価損の計上

当該事象の発生年月日

平成27年12月25日（取締役会決議日）

当該事象の内容

当社の連結子会社である LLC ヨコハマ R.P.Z.（ロシア）において、原油価格下落を引き金とするロシア経済停滞の影響等により事業の収益性が悪化したため、固定資産の減損を行うこととなりました。

また、LLC ヨコハマ R.P.Z. に対する出資金の実質価額が低下したことにより、関係会社出資金評価損を計上することとなりました。

当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

平成27年12月期の連結決算において、固定資産の減損損失約20億円（見込額）を特別損失として計上する予定です。

また平成27年12月期の個別決算において関係会社出資金評価損約95億円（見込額）を特別損失として計上する予定です。

なお、関係会社出資金評価損（個別決算）については、個別財務諸表のみに計上され、連結決算では消去されるため、連結損益に与える影響はありません。

これらの固定資産の減損損失及び関係会社出資金評価損については、現在精査中であり、今後変動する可能性があります。